

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇兵高教第39回中央委員会

◇2024年度末退職者を囲むタペ 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

子どもたちの未来が、一人ひとりが尊重される平和な社会であるために

2025年度が始まりました。みなさんの学校では新学期に向けての準備が粛々と進められていることだと思います。兵庫県の高等学校、特別支援学校に採用されたみなさま、おめでとうございます。兵庫の学校教育を共に支えていただくみなさまを心より歓迎いたします。子どもたちの豊かな学びを保障し、一人ひとりが尊重され安心していきいきと過ごせる学校づくりに向けて、力をあわせてとりくんでまいりましょう。

今年、被爆・敗戦から80年の節目を迎えます。多くの尊い命が失われ、廃墟と化した街から復興を成し遂げ、平和、人権、民主主義を普遍的理念とする社会を築き守ってきた諸先輩方に敬意を表すとともに、今その理念が危機に瀕していることに強い危機感を覚えます。

昨年、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。受賞に際し報道発表の中で、私たちが支援している「高校生平和大使」をはじめとした日本の若い世代のとりくみとその意義についても触れられており、ノルウェー・オスロで開かれた授賞式には、高校生平和大使の代表も帯同しました。

日本被団協のノーベル平和賞受賞は嬉しいニュースである一方、この受賞は、戦後構築してきた国際秩序が大きく揺らぎ、核戦争の危機が高まっていることに対する警鐘であるという指摘があります。第二次世界大戦の惨禍への反省から、国際連合では世界中のすべての人々の人権尊重が平和への第一歩であるという認識に立ち、世界人権宣言を採択しとりくみを進めてきました。しかし、今もなお世界各地で紛争と対立が続き、多くの人々の人権が蹂躪されている状況があります。

子どもたちや私たちの周りを見渡しても、個人の尊厳や命までもが軽視され、対立が煽られ分断が進んでいるといわざるを得ません。

こうした社会環境の下で、不登校児童・生徒が増加を続け、子どもたちの自死も増え続けています。多くの子どもたちが、歪んだ社会の中で増幅する諸問題の犠牲になっています。子どもたちの未来のために、私たちはこの状況を変えるべく、力を合わせてとりくまねばなりません。

全ての学び、教育の根幹を貫くものは人権教育です。私たち教職員、そして公務員全てが任用に際し日本国憲法の遵守を誓約していますが、日本国憲法をはじめ近代の民主的憲法の普遍的理念は基本的人権の尊重です。様々な人権課題に向き合い、学校生活のあらゆる場面で人権尊重の視点を基本に子どもたちに関わっていくことは、教職員として当然の責務です。そのためにも、私たち教職員が人権感覚を磨くこと、そのために学び続けることが求められています。人権を抑圧・侵害され、それに立ち向かっている方々、社会を変えようと様々な立場で奮闘している方々と直接お会いし、繋がり、様々な課題を「自分ごと」としてとらえることが大切だと思います。

全国47都道府県の教職員のみなさん、教育インターナショナル(EI)に結集する170の国・地域の教職員団体に参加する各国の教職員のみなさん、様々な業種の働くなかま、多様性が尊重される共生社会の実現にむけてとりくんでいる方々など、私たちに幅広いネットワークがあり、ともに学ぶ機会を数多く提供しています。私たちとともに学び、考え、意見を交わし、行動していきませんか。

「兵庫の教育に責任を持つ」兵高教の運動に、さらに多くの教職員のみなさまが参加されることを心より願っています。

2025年4月

執行委員長 西村恭介

よろしくお願ひします!

2025年度執行部

本部役員選挙の結果を受け、2025年度の兵高教本部執行部体制が決定しました。

今年度も三役、執行委員は全員留任することとなり、山積する諸課題の解決に向け切れ目のないとりくみをすすめていきます。監査委員には新たに青年部のお二人に就任していただきました。なお、今年度も引き続き、志水ひとみさんに書記局を支えていただきます。

執行部と支部・分会すべての組合員がしっかりとつながり、地に足の着いた実践を積み上げ、兵高教運動を継承・発展させていきたいと思ひます。

兵庫の教育に責任を持つ教職員組合として、インクルーシブ教育の実現、学校の働き方改革の推進、様々な教育諸課題の解決、現業職員の職のあり方等、教職員をとりにくく諸課題の克服にとりくみ、子どもたちにとって安全・安心な学校づくり、公正なワークルールに基づく働きやすい職場づくりをすすめてまいりましょう。

執行委員長

西村恭介

執行副委員長

足立恭信

書記長

岩井 誠(武庫荘総合)

書記次長

阪本真人(県尼崎)

執行委員

清家大毅(宝塚)

執行委員

村上文章(川西緑台)

執行委員

花房周英(県尼崎)

執行委員

齊藤由季(武庫荘総合)

執行委員

立尾 仁(視覚特支)

執行委員

棟安信博(姫路西)

執行委員

船脇吉広(高等特支)

執行委員

北川阿弓(神崎工業)

執行委員

中村一輝(県西宮)

書記

志水ひとみ

監査委員



兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU 日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

兵高教第39回中央委員会開催

3月29日、神戸市教育会館において第39回兵高教中央委員会を開催しました。

西村執行委員長は主催者あいさつの中で、狭山事件無実を訴え続けてきた石川一雄さんのご逝去に触れ、部落差別に基づく冤罪事件という権力犯罪が人生を破壊したこと、石川さんの生涯が冤罪を晴らし正義と真実を取り戻すたまたかいそのものであったことを訴え、部落差別をはじめとするあらゆる差別・人権侵害を許さないとくりくみの強化を訴えました。次に、悪化する一方の国際情勢に触れ、この状況に対し粘り強く核廃絶と平和な社会の実現に向け地道にとりくんでいる高校生平和大使のとりくみを紹介し、活動支援への協力を求めました。また、混乱する兵庫県政については、民主主義はもとより法治主義すら危機にさらされている惨状を憂い、今一度命の重さと人権尊重の意識を子どもたちや周りの教職員に広めていくこと、教員自身が情報リテラシーを高め、虚偽情報に踊らされることがないようにすることが喫緊の課題である、としました。教職員の働き方改革については、今国会で審議が始まった給特法等改正の動きは必ずしも私たち教職員の願いを受け止めたものではないことから、今後の国会での議論を注視し、引き続きとりくみを強化していくことが必要であると述べました。その他、高校無償化の議論が政治的に利用され、多くの問題をはらんでいることや朝鮮学校排除の問題等も指摘し、これら様々な課題に対応するには組織拡大・強化と政策制度要求実現のとりくみが不可欠であることを訴え、来る第27回参議院議員選挙における、水岡俊一さんをはじめとする日政連議員の全員当選、「教育の議席」の拡大のため全国連帯でとりくむ決意を述べました。

その後議事に入り、第1号議案「とりくみの経過および当面の運動方針(案)」が岩井書記長から提案されました。中央委員からは「部活動については様々な問題があるが、複数の部活動顧問を引き受け、午前・午後と別の部活動の指導に当たっても四号業務の対象はいずれかに限ると言われた。そもそも手当額が極めて少ない上、半日分は手当も何も出ない、という制度は明らかにおかしい」「再任用教職員の処遇の改善を求めてほしい」「業務量や責任は何も変わらないのに、月例給は六割水準、一時金の月数は半分しかない。同一労働同一賃金の原則に反している」「入試のWeb出願について、今年度試行が行われたが、様々な問題が生じているようだ。来年度の本格実施が不安」など、各学校の現状をふまえた意見が出され、課題を共有しました。これらの意見に対し、執行部からは「部活動顧問を兼任し、午前・午後別の部活動を指導している例は少なくないが、制度を作る側にその認識がない。部活動についてはそもそも構造的な問題が山積しているため、来年度は部活動問題についての学習・検討の機会を設けたい」「再任用教職員の処遇の問題については、以前から交渉を重ねている。国家公務員準拠の制度であり、定年延長とは制度が異なる、という説明に終始してきたが、今年度の確定交渉でようやく生活関連手当の一部支給にこぎつけた。引き続き中央とも連携しながら、交渉を続けていく」「入試のWeb出願については、執行部としても情報を整理し交渉の材料としたいと考えている。具体的にどのような課題があるか、情報提供をお願いしたい」等答弁を行い、議論を交わしました。その後、清家書記次長より各会計議案が提案されました。全ての議案は全会一致で提案通り可決され、年度当初のとりくみを決定しました。

なお、今回の中央委員会での女性参画率は42・85%でした。引き続き、男女共同参画、青年層の積極的な活動に向けて、組合員のみならず、皆さまのご協力をお願いします。



第1号議案提案



主催者あいさつ

2025年度
第1回臨採者学習会 -採用試験対策講座(1)-
4月5日(土)13:30~16:30 神戸市教育会館 403

【内容】
★ひょうごの教育
「第4期ひょうご教育創造プラン」について など
★今日の教育課題
「インクルーシブ教育」について など
★出願に向けて
◆どなたでもご参加いただけます(参加費無料)。参加希望の方は、できるだけ前日までに電話/メールでご連絡ください。

お問い合わせは、兵高教書記局まで
兵庫高等学校教職員組合
神戸市中央区中山手通4-10-5
神戸市教育会館5階
TEL 078-261-0829
FAX 078-261-1094
hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

※兵庫県の採用試験の傾向・特徴をふまえた的確な学習ができます。受験予定のみなさんはぜひご参加ください。職場のなかまへの周知をお願いします。

2025年度 第1回拡大執行委員会
とき 4月19日(土)9:30~12:00
ところ 兵高教書記局(神戸市教育会館5階)
※年度当初の情報共有・意思統一を図ります。
各支部・専門部よりのご参加をお願いします。

2024年度末退職者を囲む夕べ
3月29日(土)午後5時より、元町「大家好」で、兵高教『2024年度末退職者を囲む夕べ』を開催しました。公私ともご多忙の中、今年度末をもって退職される組合員の中から吉水公一(西宮香風分会)さん、住江正典さん(千種分会)のおふたりに出席していただき、退職される方がたの長年の労をねぎらいつつ、楽しいひと時を過ごすことができました。

2024年度末定年退職者のみなさま

- ▼阪神支部
吉水公一さん
(県立西宮香風高校)
- ▼尾嶋成弘さん
(県立西宮南高校)
- ▼東播支部
徳永佳貴さん
(県立三木高校)
- ▼西播支部
住江正典さん
(県立千種高校)

以上4人の方がたです
長い間、ありがとうございました